

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



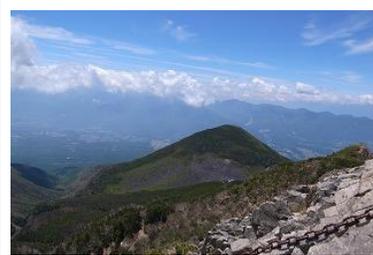
みなさん、こんにちは。まだ梅雨入りしていないのに、不安定な天気が続きますね。最近、コート施工の現場が多くなってきて、毎日天気予報を見ながら予定を組ん

でいる堀内貢次です。コートの種類によっては、塗布後1時間以内に雨で濡れてしまうと、コート自体が白濁して、剥離作業が、洗浄の5倍も手間がかかってしまうものもあるので、降水確率が30%の時には、コート施工を行う決断が難しいですね。

「編笠山登山」

先日、八ヶ岳の南方の編笠山と権現岳に登ってきました。久しぶりの好転に恵まれ、南アルプスはもちろん、富士山や北アルプスまではっきり見えて、最高の気分で登ってきました。

小淵沢 IC から少し北上したところに観音平とう登山口があり、アクセスも良好で朝6時から、ゆっくりと登りお昼には、権現岳でビールを飲んだり、風景写



真撮ったりして充実した一日でした。約10時間も歩き、久しぶりの登山で足はガタガタでしたが心地良い疲労感で充実しました。次回は、同じ八ヶ岳の赤岳にも挑戦しようと思います。

「ライムストーン乱張りの洗浄・コート」

今回の石材メンテナンスは、ある結婚式場の外庭にライムストーンの花崗岩の乱張りが敷いてあるのですが、水はけが良くないために、カビや、雨水がそのまま乾燥してできる水垢が出来て黒ずんでしまっている現場からです。

石自体に吸水性があるので、湿気から黒カビが発生し、その上に、水が溜まったまま、日光で乾燥してしまうために、水分のミネラル分が砂ぼこりの汚れと混じって結晶化して、しつこい汚れの固まりになってしまっています。

こうなると、薬品を使用し物理的に洗浄していく方法が有効になってきます。

まずは、水垢の強い部分へ、洗剤を塗布し、研磨剤入りのブラシでポリッシャー洗浄をしていきます。ライムスト

ンは、石自体が柔らかいことも手伝って、表面を軽く研磨していくように洗い、乾燥後にも黒く変色している



部分へは（これはカビになります）、塩素系の漂白剤を塗布しカビを分解していくと、本来のライムストーンの淡いページュの色味が復元してきました。翌日、カビの発生を抑制するために浸透性の吸収防止剤を塗布して完了しました。



マンション玄関入口部分コート施工

先日、玄関土間のコート施工に行ってきました。外部通路の延長線上に玄関入口があるために、強い雨の日には、土間部分へ、水が入り込んでしまい石が濡れ色になってしまうので、水分が入り込まないようにするために、浸透性の吸水防止剤の施工依頼が来ました。目地周り部分が特に、濡れ色が出ていたので、バーナー等で強制的に乾燥させて、浸透性の吸収防止剤を塗布します。塗布後には、湿気が戻らないように再度バーナーで乾燥させて完了です。



(編集後記) 最近、外壁のテスト施工が多く、持運びに便利な高圧洗浄機を購入しました。アネスト岩田の高圧洗浄機です。延長ホースとターボノズルが初めから同梱して便利で軽く、ちょっとした洗浄には重宝しています。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp